

## 代名詞の発展 - 2

『形式目的語』の“ it ”

I'm loving it .

(私のお気に入り。 / マッ 大好き! )

Get it at Chop Channel .

(チョップチャンネルでお買い求めください。)

You can do it .

( make )

( do:君なら出来るよ。 / make:頑張れば出来るよ。)

英語は『文型』によって言葉の関係性を伝える言語である。だから、その動作に対象物があるときには必ず「目的語」を入れなければならない。

明確な目的語が無い時でも形式的に“ it ”を用いて「文の形式」を保たなければならない。

日本人にとってはなかなか馴染めない、厄介で面倒くさい表現である。

1 , 次の英語のフレーズの意味を、下の□ から選んで記号で答えなさい。

Check it out ! ( ) Put it on the floor . ( )

Don't miss it ! ( ) Get it out of the way . ( )

I've got it ! ( ) Please throw it away . ( )

Please find it out . ( ) Let's chase it right now . ( )

Finally I did it . ( ) Please take it to him . ( )

Don't touch it ! ( ) You can use it anytime . ( )

ア ; しめた !

イ ; 捨ててください。

ウ ; やっとできた。

エ ; いつでも使っていいよ。

オ ; 触るな !

カ ; 床の上に置いて。

キ ; お見逃しなく !

ク ; すぐに追いかけて。

ケ ; 見つけてください。

コ ; 彼に持ってってね。

サ ; 見てね !

シ ; 邪魔だからどけて。